

報道各位

若いAYA世代[※]の患者と共に医療のあり方を話し合い、“今を生きる”を考えよう！ 『第22回日本緩和医療学会学術大会』で市民参加セッション(無料)を開催

2017年6月24日(土) パシフィコ横浜 国立大ホール

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 (所在地:大阪市西区 理事長:細川 豊史)は、がん医療を中心とした緩和医療に関する学術会議『第22回 日本緩和医療学会学術大会』(大会長:有賀悦子 帝京大学医学部緩和医療学講座教授)において、2017年6月24日(土)に、パシフィコ横浜 国立大ホールで、AYA世代(15歳～30代)の”今を生きる”をテーマにした市民参加セッション(無料)を開催します。

本セッションでは、がんをはじめ、様々な疾病をもった患者や、患者を取り巻く人々と共に、人生をどのように生き抜いていくか、そのために必要なことや医療のあり方を話し合います。医師の川村優希さんや、衆議院議員の小泉進次郎さんをゲストに、参加者には、その場で任意のアンケートに回答いただく、ライブ感あふれる内容です。

がん医療で注目されている言葉「AYA世代(15歳～30代)」の若い参加者と共に考える場となるよう、若い世代の参加者を募集します。

今回の『第22回 日本緩和医療学会学術大会』では、「集い対話する」をメインテーマに、双方向性を加味した症例検討ワークショップや、他学会との合同シンポジウム、これからのがん対策や子ども達へのサポートに関するシンポジウムなど、日頃の研究・診療・教育の成果を発表し、緩和医療・ケアに関する情報を発信してまいります。



※AYA(アヤ)とは: 15歳～30歳前後の思春期・若年成人(Adolescent and Young Adult)を指します

1. 第22回日本緩和医療学会学術大会 市民参加セッション 開催概要

<催事名> 第22回日本緩和医療学会学術大会 市民参加セッション

<日時> 2017年6月24日(土) 14:40-17:10

<スケジュール> ①プレセッション 14:40-15:10

大会長講演 私が緩和ケア医である理由 有賀悦子(帝京大学医学部)

②市民参加セッション 15:10-17:10

拝啓 若者たちへ ～AYA世代(15歳～30代)の”今を生きる”を考えよう

ゲスト: 川村 優希(医師)、小泉 進次郎(衆議院議員)

<会場> パシフィコ横浜 国立大ホール

(みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩5分)

<入場料> 無料

<参加申込> 大会ホームページより事前申込み制 URL: <http://jspm2017.umin.jp/shimin>

<締め切り> 6月12日(月)

<参加人数> 定員 1000人

<連絡先> 第22回 日本緩和医療学会学術大会 運営事務局

TEL: 06-6441-5860・E-Mail: 22congress@jspm.ne.jp

2.催事の取材について

催事の取材申込方法は第 22 回日本緩和医療学会学術大会ホームページより申込書をダウンロードの上、運営事務局宛にご提出ください。

詳細については下記にて確認ください。

URL : <http://jspm2017.umin.jp/press>

3. 第 22 回日本緩和医療学会及び市民参加型セッションに関するお問い合わせ先

第 22 回日本緩和医療学会学術大会 運営事務局

TEL : 06-6441-5860

Email : 22congress@jspm.ne.jp

URL : <http://jspm2017.umin.jp>